

富士河口湖町立 教育センターだより

No.13

平成30年10月12日

文責 渡辺 富美夫



支えてくださっている方々に感謝

子どもたちの健やかな成長のために、町教育センター関係のものだけでも多くの方々がかかわってくださっています。

その1 教職員OB

以前にセンターだよりでもご紹介しましたが、多くのOBの先生方がご協力くださっています。



応援教室打ち合わせ会

その1つが、木工体験学習です。倉沢正徳先生、希代修先生、渡辺正利先生が、体験学習プログラムとして実施した当初から、指導に関わってくださっています。指導の際、教員としての経験に加え、生活の知恵が随所に現れています。的確なアドバイスと工具の使い方の指導により、子どもたちは、慣れない工具に苦勞しながらも作り上げていく楽しさを感じながら作品を作ることができていきます。すばらしい作品が仕上がった喜びの声と感謝の声がセンターにも届いています。なお、木工体験学習では、野鳥の森公園園長の渡辺貞夫さんに大変世話になっています。

学習応援教室もその1つです。学習応援教室は、町教育委員会が実施し、夏休みには、397人（延べ人数1663人）もの子どもたちが参加しました。町費負担教員が中心となって指導を行っていますが、退職教職員の方々の応援がなくては成り立ちません。必要人数が多く、OBの数が足りないという状況の中で、越石節代先生、渡辺友子先生、渡辺久美子先生、希代修先生、古屋庄一先生、渡辺正利先生、堀内智美先生、堀内美紀子先生、倉沢成彦先生、大橋恵都子先生の10人（延べ44人）の先生方に指導に入っていただきました。OBの先生方から、「子どもたちが自ら取り組んでいる姿が素晴らしい。」「若いエネルギーをもらっているようだ。」という声が届いています。

町、運転手さんに
感謝

その2 町バス

体験学習や校外学習に
なくてはならない

他市町村から来た先生方から、「富士河口湖町はすごい。」と言われるものの1つが、校外学習等における町バス利用です。年1～2回の校外学習にとどまらず、教育課程に則ったお店や工場などの見学、総合的な学習における校外での学習、さらに、複数校による交流活動やセンターが行っている体験プログラム学習など様々なことに利用するバスを町が手配してくださっています。実物（本物）を見ることは大切です。学びに必要な、「五感で感じる」ことが、町バスによって可能になっています。20年ほど前、フィールドミュージアム構想を掲げ、町によるバス運行をお願いし、実現したのですが、実体験を伴った学習により子どもたちは確かな力を身につけています。町当局、並びに安全に楽しく乗車できるように運転してくださっている運転手さん（古屋 清巳さん、渡辺晴義さん、三島正臣さん、中沢金五さん、倉澤吉郎さん）、ありがとうございます。



ふじびね



●●●町バスの運転手 古屋さんより●●●

- ・うれしいこと * 元気よいあいさつ。がんばるぞというパワーが出ます。
* 静かにマナーを守ってバスに乗ってくれること。
- ・気を付けていること * 安全に運行すること。